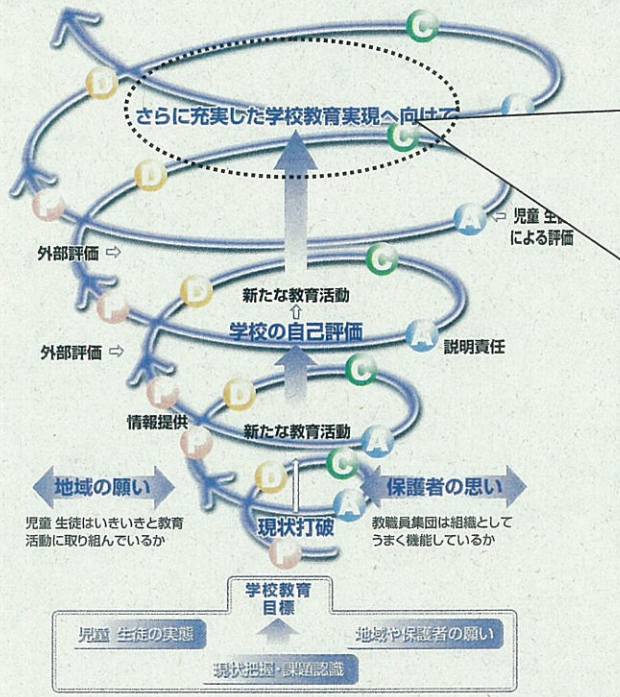
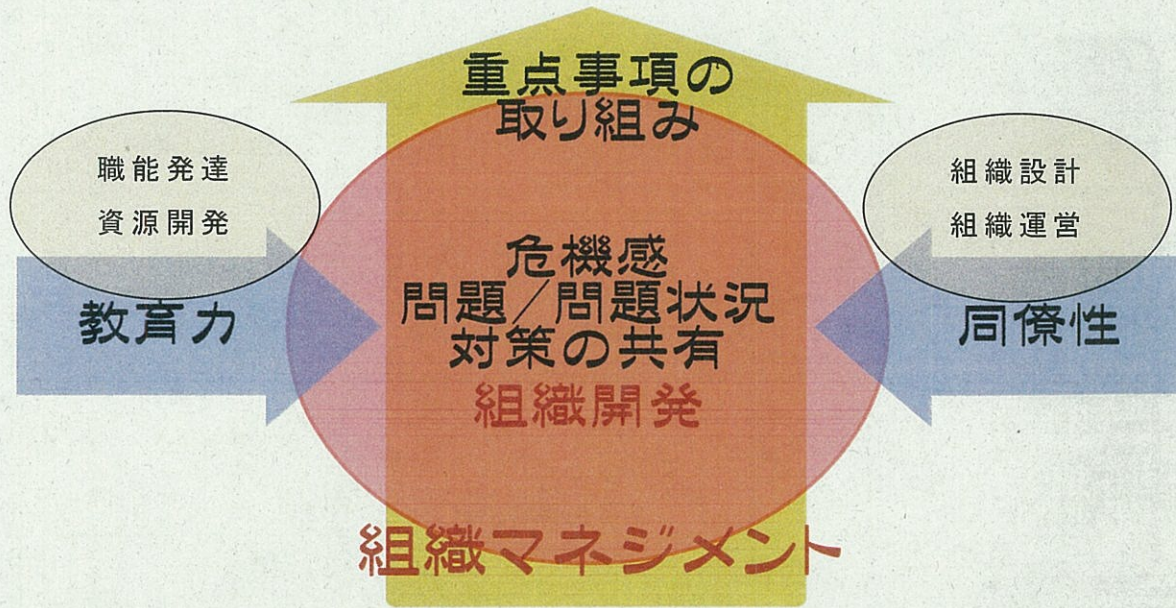


6 組織マネジメントによる人材育成



教職員が個々の資質や能力を十分に発揮し、協働性を高めていくことによって、学校組織は充実していきます。また、教職員自らが組織や自己を振り返る自律的な集団になれば、教職員の専門性や組織としての教育力は高まっていくと考えられます。

学校が組織を活性化させ、充実した学校教育の実現を図るには、学校教育目標に向かって問題や対策を共有し、関わる人や資源を開発しながら「組織マネジメント」を展開していくことが望まれます。



実践への視点

- a. 学校教育目標を意識しながら、自己目標の実現に向けて PDCA を行っているか。
- b. 学校教育目標実現に向けて、組織の設計や運営が見直されているか。
- c. 教職員間で教育実践事例を交流させたり、論議したりする場が設定されているか。
- d. 職能発達に向けた教職員の共通理解や意識高揚が図られているか。
- e. 学校内外の資源を開発し、関わる人を広げていく体制が整っているか。

例: 学校教育目標と教職員個々のPDCA

【ポイント】 学校教育目標と教職員の自己目標との連鎖！
管理職と教職員、教職員相互のコミュニケーションの充実！

学校教育目標 子どもが学び子どもが創る学校

校長と学部主事とのコミュニケーションによる
学部経営目標の設定

学部経営目標	幼稚部 ともだちだいすき せんせいだいすき	小学部 自分が大好き 学校大好き	中学部 見つけよう自分の力 伝えよう自分の思い	高等部 個性を生かし 社会を見つめる
--------	-----------------------------	------------------------	-------------------------------	--------------------------

学部主事と学部職員とのコミュニケーションによる
学部重点事項の設定

学部重点事項	子どもたちと共に 活動を楽しみながら よき援助者になる	子どもたち一人一人の よさを見つけ共有する	個に応じた支援を共有する	社会参加方法を創造する コミュニケーションの充実
--------	-----------------------------------	--------------------------	--------------	-----------------------------

学部重点事項の展開に向けた
各職員の具体的な取組の設定

教職員個々のPDCA

学各 部職 員が 事項 作成 展開 した シート の例	具体的な取組(抜粋)	期待できる効果	自己評価・相互評価の指標
	学習指導の様子をビデオに撮り、 分析して情報交換する	子どもの変容がわかり、客観的な データが得られる	データをまとめて情報交換したか
	自分の取組を発表する場として校内 Webを活用し、意見を求める	自分だけでは気が付かない成果や 課題などの情報が得られる	取組発表に対する書き込みがあった か
	障害者の自立・福祉制度について 回覧板・広報誌・掲示板などを使って 情報発信する	会議をしなくても情報の共有化が図 れ、意志の疎通が促進される	積極的な発言・アイデアを提供する 同僚が増えたか
	「有意義な雑談」をする ～雑談の内容を絞り込み相手と タイミングを意図しつつ～	本音の情報交換・会議の精選	授業や子どもに関する日常の何気な い会話からアイデアが生まれたか

- ・ 校長と職員との面談による具体的な取組の更新
- ・ 職員の自己評価・相互評価による手応えの自覚

アクションの創造

更新・向上策

【人材育成】

- 教師としての専門性・指導力の向上
- 組織の中で協働して目標に向かう実践力